



続ける 前を向く 自分で決める

校長 横枕 耕史

春江中学校では、生徒が自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓くことができる「**未来を主体的に生き抜く力**」を育む学校を目指しています。今、学校で実施している授業は、学習のベースとなる「**知識・理解**」の納得感を高め、話し合い活動や探究学習などの「**活用**」を行う授業構成になっています。授業内で学習内容を「**定着**」させる時間を多く設定できないため、**自学自習で補い「定着」させる**ことが必要です。学習内容を「**記憶**」として定着できていれば問題が解けて授業を楽しむことができ、授業がおもしろくなるものです。逆に定着していないとできない自分に劣等感を抱き自己肯定感を下げてしまいます。

昨年度の生徒アンケートの結果によると、スマートフォンを使用している時間が多く**家庭学習の習慣が身に付いていない**生徒が多い実態がありました。時間を有効活用する課題があります。そのため、今年度は、自分の目標をもち、それに向かって計画的に取り組んでいく**自己管理能力**や**自己学習力**、**自己調整力**を身に付けられるようにするためのツールとして生徒一人ひとりに「**フォーサイト手帳**」を配付しました。1週間を見開きで把握できる手帳を用いて、学校での授業、放課後の部活動や習い事の予定管理、家で過ごす時間の計画など隙間時間を含め、自分の時間をどのように過ごすのか、計画し、自ら主体的に時間を有効に過ごすように促しています。自己管理能力を高め、維持していくために「続ける」こと、「前を向く」こと、「自分で決める」ことの三つが重要です。

①「続ける」こと

何事も地道に続けることを大事にしなければなりません。続けることは簡単そうに見えて、実はとても難しいことです。自分で意識していなければ忘れてしまうことがあるのが人間です。朝起きて顔を

洗ったり、朝食を食べたり、歯を磨いたりルーティーンとして習慣化できるものもありますが、「続ける」ことは簡単そうでも実に難しいものです。学習でも習い事でも運動でも、隙間時間などの短い時間でも良いので続けていけば、「**継続は力なり**」のとおり必ず大きな成果が出るはずで**す**。生徒にとっては学習を「続ける」ことが大きな課題です。ちょっとした隙間時間があれば**AIドリル**(ドリルパーク)など**繰り返し解く自学自習**を続ければ、必ず学習内容が「定着」します。さらにAIドリルを事前学習にも活用すれば授業開始時点で**前提知識**が身に付き「**できる**」という**成功体験**が積み重なるはずで**す**。

②「前を向く」こと

人は成功体験ばかりで生きていくことは難しく、生きる上で思い通りにならないことに直面するのは当たり前です。失敗や挫折した時に後悔するのも当たり前ですが、いつまでも引きずらないで、気持ちを切り替えることが大切です。**過去は変えられません。しかし、未来は変えられます。**過去の自分に固執するより、未来の自分にエネルギーを使うべきです。**未来志向でポジティブに「前を向く」生き方**が、楽しい時間を過ごすポイントになるはずで**す**。

③「自分で決める」こと

他人の意見や価値観は互いに尊重しあう人間関係が大切です。しかし、SNSや人の評価や言うことばかり気にして右往左往するようでは、自分の人生を生きているとはいえません。周囲の意見を参考にしても、**最終的には、自分の人生のストーリーは自分で決めると、強い意志で将来の生き方を描き、自分を変えていくことが未来につながるはずで**す**。**

今を生きる中学生が大人になったときに、未来はどうなっているのか。生徒一人ひとりが、目を輝かせ、健やかに逞しく自分の人生を主体的に生きてほしいと願います。